

# 1 外壁リフォームの設計

## 1-1 適用条件

### 3)耐風圧条件 ②センターサイディング

- 木胴縁、金属胴縁に施工した際のセンターサイディングの耐風圧性能は下記の通りです。建築物に想定される風圧力(負圧)より安全性をご確認ください。
- 下表の値は測定値(破壊:負圧)です。施工状況で変わることがありますので、設計に際しては適切な安全率を見込んでください。推奨安全率=1.6以上(平成19年国土交通省告示第834号より)  
必要耐風圧性能が不足する場合は補強工法での施工となります。

破壊:負圧、単位:Pa

芯材	働き幅	厚み	型名	製品名	木下地 (@500)	鉄骨下地(直張り) (@610)
イソシアヌレートフォーム	300	18	M型	スマートフラット 光	2500	3800
				スマートフラットプレミアム		
				スマートフラットPH		
				スマートフラット侘寂 (WABISABI)		
	385		NS型	ネオスパン 光	2000	3400
				ネオスパンプレミアム		
				ネオスパンPH		
			FN型	デリカーブPH	1700	2400
				ダイヤシェイプⅡ 光	1900	2200
				ダイヤシェイプⅡ PH		
ダイヤシェイプBSⅡ	2500			4700		
硬質ウレタンフォーム	300		—	シン・スマートフラットPU	1800	2200
	385		—	シン・ネオスパンFU	1600	1500
			ST型	センターストライプU	1900	2200
			iシリーズ	ソフィアルブリック	1547(※1)	1800
				ファインボーダー	1882(※1)	1200
			FB型	コルモロック	1900	2100
				ネオレリーフプレミアム	1500	1500
				ネオレリーフ		
				レフィーナウォール	1600	1800
				影光Ⅱ	1100	1100
				ブリック(北海道限定)	1750	—
			F型	塗り壁	1597(※1)	2000
				パーチェウッド	1300	1300
	368		D型	ノースウッド	1200(※1)	2400
	241	A型	—	2450	2650	

※1 留付間隔は455mm

- 下表の値は補強工法での測定値(破壊:負圧)です。施工状況で変わることがありますので、設計に際しては適切な安全率を見込んでください。推奨安全率=2.0以上  
補強工法はセンターサイディング各工法納まり詳細図をご参照ください。

破壊:負圧、単位:Pa

木下地(@500)	4250
鉄骨下地(直張り@610)	4600